

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	医者
オプション	ソラリス		年齢	26歳	性別	女
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34%	
出自	兄弟	経験	大勝利	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	1			1	行動値	5
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	5
精神	2	0	1			3	戦闘移動	10
社会	6	0	0			6	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉	5	
回避			知覚	1		意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識: 医学	6		情報: UGN	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネUGN幹部		ロイス			
コネ春日恭二(兄さん)		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス
		春日恭二	P 慈愛	N 偏愛	
		東條蒼穹	P 同情	N 隔意	
		八雲太陽	P 同情	N 嫌悪	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		Dロイス: 超血統	P	N	
		最大財産P:	16	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: ソラリス	2	2	メジャーアクション	-	-	シンドローム	-	
効果: クリティカルLv(下限7)								
戦乙女の導き	2	2	メジャーアクション	至近	単体	自動	-	
効果: 対象が次に行なうメジャーアクションのダイスを+LV個する。そのメジャーアクションが攻撃の場合、その攻撃に+5する。								
癒しの水	3	2	メジャーアクション	視界	-	自動	-	
効果: 対象のHPを[(LV)D+【精神】]点回復する。								
狂戦士	2	5	メジャーアクション	視界	単体	自動	80↑	
効果: 対象が次に行なうメジャーアクションの判定のクリティカル値を-1(下限値6)し、さらに、その判定のダイスを+[LV×2]個する。								
女王の降臨	3	5	セットアッププロセス	至近	自身	自動	ピュア	
効果: あなたが取得している「タイミング: メジャーアクション」かつ「難易度: 自動成功」のソラリスの効果を1つ使用。浸食値は合計し、上昇。他の効果との併用不可。LV回シナリオ中使用できる。								
奇跡の雫	2	6	オートアクション	視界	単体	自動	100↑	
効果: 対象が戦闘不能になった時に使用する。対象は戦闘不能を回復し、HPを[LV×5]まで回復する。この効果は自分には適用出来ない。この効果は1シナリオに1回まで使用できる。								
絶対の恐怖	4	3	メジャーアクション	視界	-	対決	-	
効果: 「攻撃力: +Lv」の射撃攻撃を行う。この攻撃では、対象の装甲値を無視してダメージを算出する。								
元気の水	★	-	メジャーアクション	至近	単体	自動	-	
効果: 栄養満点の水を作り出す。HP回復やバッドステータス回復効果はなし。具体的な効果はGMが決める。<RC>による判定を行わせてもよい								
快樂の香気	★	-	メジャーアクション	視界	シーン	自動	-	
効果: においを嗅ぐだけで恍惚とするような快樂物質を散布。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

春日恭二の歳の離れた妹。ほんわか系。

「あらあら～、兄さんったらまた怪我をしてしまったのですね～。ふふふっ...もー、調子にのるからですよ！」

B:87 W:58 H:73

ほんわかDS。兄を調教するのが趣味。
 怪我をする兄の治療を主にしているのだが怖がられる。
 純粋に兄を慕い、敬い、そして愛しているがかなり歪んでいる。
 ヤンデレではない。普通に良い子。春日が逃げなきゃ普通に尽くしてくれる優しい良い子。ただし逃げられる。

生まれつきのオーバードであり、幼少の頃から周りから忌避されていた。
 そのため、兄である春日恭二以外は信じてることが出来ない。
 兄がいなければ生きていけないと公言している。
 兄が自分から離れないように日々調教という愛情を注いでいる。

「調子に乗るから駄目なんですよ。」とは口では言うが、それは兄の怪我を心配しての言葉であり、彼のプライドを踏みにじる発言をして、なんとか任務に躍起になる事を止めさせようとしているのだがなかなか上手くは行かず、逆に兄に怯えられている。
 それ彼女の中で密かにあった嗜虐心を刺激し、彼女の一面を変化させた。

兄が自分から離れなければそれでいいが、離れようものなら死に物狂いで止めることだろう。